



新生
若獅子

深川江戸資料館 協力

プロデュース
公演



笠原 章

著作
制作
若獅子



笠原章 作・演出
深川の雪

舞踊
品川の月
吉原の花

構成・振付／山村 佐智子

題字／緒形 幹太

【エレクーン演奏】



柴田 江己



高丸 えみり



正木 慎也



中條 響子



南條 瑞江



柴田 吏佳



中込 こころ



大井 雄央



橋本 宗篤



岩下 譲二



弘山 和華乃



山内 萌子



久米田 彩



藤ノ木 ゆい

深川江戸資料館小劇場

TEL 03-3630-8625

平成30年 **7月3日(火) ~ 6日(金)**

開演時間	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)
	2:00	1:00	1:00	2:00
		6:30	6:30	

入場料
4,500円
(全席指定・税込)

<アクセス> 都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」A3出口 徒歩3分

お問合せ・お申込み ◆若獅子事務所 TEL&FAX 03-6875-2408 〒156-0044 世田谷区赤堤4-25-8-203
◆深川江戸資料館 TEL 03-3630-8625 〒135-0021 江東区白河1-3-28

プレイガイド カンフェティチケットセンター <http://confetti-web.com> TEL 0120-240-540 (平日 10:00 ~ 18:00)

「深川の雪」あらすじ

寛政五年、夏の宵。吉原大文字屋の遊女・多賀袖は、花魁には御法度の刺青を彫ろうとしていた。浅草仲之町の引手茶屋で、その趣向を偶々知ったのは、今売りに売られている浮世絵師・喜多川歌麿。多賀袖の魔性の肌に魅せられた歌麿は、江戸随一の彫り物師・唐草の権次になり代わり、その美しい背中に妖艶な刺青の下絵を書くことに……。

その頃、日本橋通油町の耕書堂主人・蔦屋重三郎は、松平定信による奢侈禁止令で幕府に睨まれ身代半減となっていたが、歌麿の絵になりたいと夢見る愛娘・お千代の健気さに支えられ、起死回生を図っていた。そこへ、阿波徳島藩藍染御用達鳴門屋の女将・おれんが、東洲斎写楽の役者絵を世に出して欲しいと頼みに来た。写楽と名乗る能役者・斉藤十郎兵衛の描いた奇妙な浮世絵を見た蔦屋は、その才能に驚異を感じ、一か八かの賭けに……。

数日後、「中村屋の芸者豊雛」「難波屋おきた」「高島屋お久」の当時三美人の絵をようやく仕上げた歌麿は、女弟子・織江に縁談話がある事を知る。嫁に行くの一言が言えない歌麿——。一生側に置いて欲しいの一言が言えない織江——。人は出逢い、そして別れ行く……。

美人画絵師・喜多川歌麿晩年の名画『雪月花屏風三部作』に秘められた、物悲しくも艶っぽい歌麿の涙を、ご堪能くださいませ。

舞台監督／甲坂真一郎 主催／若獅子事務所



深川江戸資料館

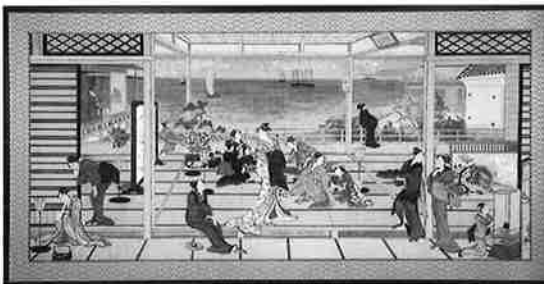
TEL 03-3630-8625
東京都江東区白河1-3-28

<アクセス> 都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線
「清澄白河駅」A3出口 徒歩3分

この公演のチケットをご提示頂くと
「深川江戸資料館・展示室」を
300円(通常400円)でご観覧いただけます。



吉原の花



品川の月



深川の雪

明年(平成31年2月)

花は紅染千代一座

愛川欽也 作
笠原章 脚本・演出



笠原章

若獅子プロデュース公演
おおさかバージョン 第II弾

(参加) 東 千晃
草笛雅子
ほか

国立文楽劇場小ホール(大阪)

開演時間	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月祝)
	2:00	12:00	12:00	2:00
		4:00	4:00	

[特別出演]



神野 美加



嵐 圭史

蜚 — お登勢と龍馬 —

織田作之助 原作(「蜚」より)
土橋 成男 作



藤山 扇治郎



上州土産
百両首

川村 花菱 作



笠原 章

新生若獅子プロデュース公演

平成30年 <2018年>

11月28日(水)~12月2日(日)

(両国)シアターX<カイ>

全館指定席 6,000円

今井 吉清
神 道明
菰池 剛史
新島愛一朗
立川 修也
貴田 拳
渋谷 天笑
宮本 夕莉
舞戸 札子
根本亜季絵
森 朝子
中條 響子
南條 瑞江